



水性路面標示材速乾工法

ロードライン マーキュリー ドライサポート工法 (N)

レーンマーク施工管理要領 水性Ⅱ型適合

水性ラインが即硬化!驚きの速乾性能!

ロードラインマーキュリードライサポート工法

高速道路のレーンマーク施工管理要領で区分されている水性Ⅱ型に適合する水性路面標示材速乾工法で、水性路面標示材(ロードライン マーキュリーH)を塗装後、塗膜表面に同幅でドライサポートをスプレーすることで、乾燥時間を著しく早めます。ペイントマーカー車に専用の塗布装置を追加装備するか、台車等で装置を運び塗装後にドライサポートをスプレーします。当工法で施工し、養生後、再び同工法により二層構造とすることで、レーンマーク施工管理要領 水性Ⅱ型に適合します。



二回目施工状況

特 徵

■ レーンマーク施工管理要領 水性Ⅱ型的適合

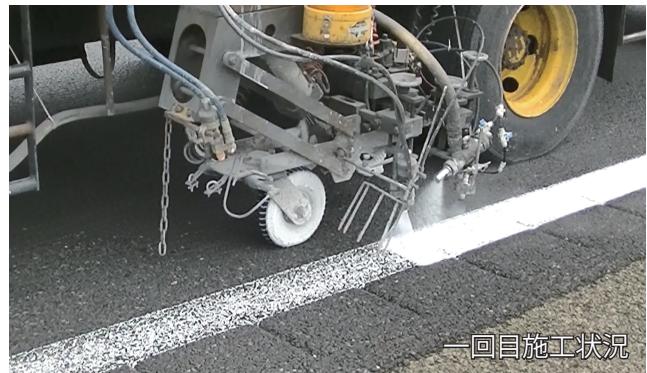
ロードラインマーキュリードライサポート工法で施工し、養生後に再び同工法により二重構造をとすることで、レーンマーク施工管理要領 水性Ⅱ型に適合します。

■ 簡単施工

従来のペイントマーカー車にタンク式塗布装置を追加装備するか、ライン施工の後ろからハンドスプレーで噴霧します。

■ 交通規制の早期解放

乾燥時間を早めるので、交通解放までの時間を短縮できます。



一回目施工状況

標準仕様

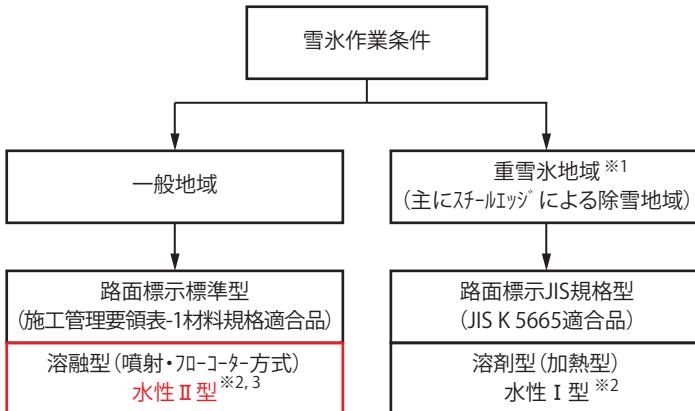
塗 料	硬化促進液	塗布量	装置
水性路面標示塗料 【ロードラインマーキュリーH】※1	ドライサポート	標準: 40g/m ² ※2	専用塗布装置

※1 ロードラインマーキュリーH対象の速乾工法であり、その他の水性塗料では性能に問題が発生する恐れがあります。

※2 施工条件により30~50g/m²の範囲内でお使いください。塗布量により性能が変わる場合があります。

材料の選定区分(参考資料)

レーンマーク施工管理要領(H29.7)より抜粋



使用材料の選定に当たってはの留意点は以下のとおりである。

※1 スチールエッジ使用による除雪作業に対し、耐久性が高いレーンマーク材料は確認されていないことから、経済性を考慮し、路面標示JIS規格型(溶剤型(加熱型)や水性I型)を使用する。

※2 施工後も外気温度5°C以上及び湿度85%未満の現地状況下で十分な養生時間が確保できない場合には水性I型及び水性II型は使用してはいけない。施工直後のみならず、施工後6時間先までの気象状況を十分に見据えて使用する必要がある。

※3 水性II型は、耐久性が向上し、ガラスビーズと塗料の固着力が強固であることから良好な夜間視認性が期待でき、VOC(揮発性有機化合物)成分は少量で環境に優しく、すべり抵抗性も良好である。

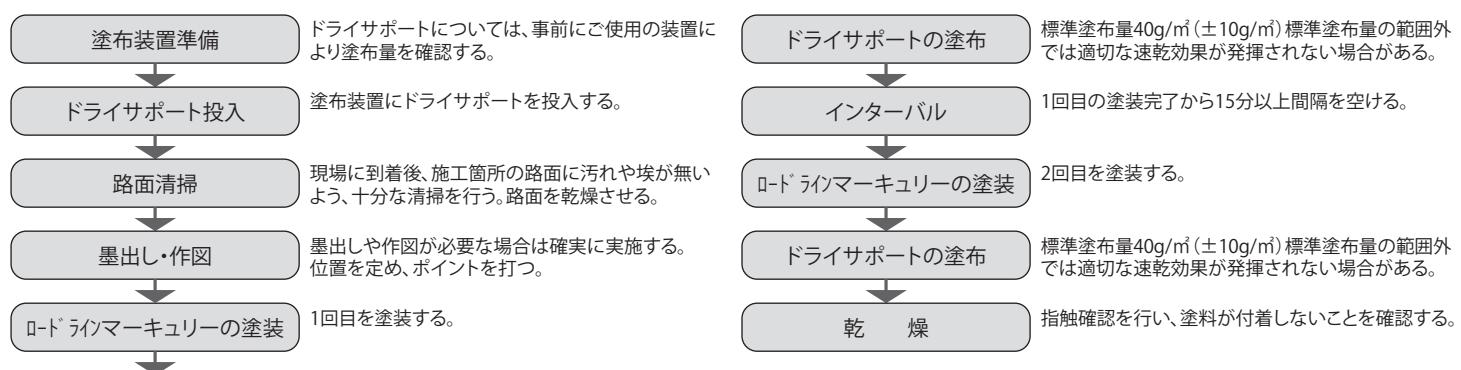
標準塗装仕様

工法名	塗 料	ドライサポート
ドライサポート工法	160L (1ドラム)	20kg (1箱)

容量・荷姿

製品名	容 量	荷 姿
ドライサポート	20kg	ポリ容器 (外箱入り)

標準施工手順



本社: 〒135-0007 東京都江東区新大橋1-8-11大樹生命新大橋ビル7F
TEL 03-5638-7433 FAX 03-5638-7435

URL: <https://www.nipponliner.co.jp>

本店(東京) TEL 03-5638-7431 中部支店 TEL 0586-71-4155
北海道支店 TEL 011-662-0311 関西営業所 TEL 072-829-5481
東北支店 TEL 022-356-3674 中四国営業所 TEL 082-287-0304
北関東営業所 TEL 048-669-0088 九州営業所 TEL 092-584-3138
神奈川営業所 TEL 046-263-1300 長崎営業所 TEL 095-857-2511

●本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
●Copyright©2020 NIPPON LINER CO.,LTD. all rights reserved.